

平成23年行政事業レビューシート（外務省）										
事業名		北東アジア協力対話開催経費			担当部局庁		総合外交政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度					担当課室		安全保障政策課		課長 伊澤 修	
会計区分		一般会計			施策名		Ⅱ－1 国際の平和と安定に対する取組			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		外務省設置法第四条第一項第一号イ			関係する計画、通知等		－			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		北東アジアの長期的な安定確保を目的とした民間レベル(トラック2)の安全保障対話である北東アジア協力対話(NEACD)出席のための出張費(東京開催の場合は開催費)。参加国は日本、米国、中国、韓国、ロシア、北朝鮮。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)		NEACDは93年より計20回開催されている北東アジアで唯一の定期的な多数国間安全保障対話。民間研究機関(米国カリフォルニア大学サンディエゴ校世界紛争・協力センター)主催であるが、各国の学識者に加え、政府関係者も個人の資格で参加し、北朝鮮に対し、我が国及び関係国の考えを伝え、議論する数少ない場となっている。六者会合が北朝鮮の核問題の解決を目的とする政府間枠組みであるのに対し、NEACDは北東アジアの長期的な平和と安定を目指す政治安保対話の枠組みであり、六者会合が進展しない状況においても、NEACDにおける対話を先行させ、我が国としてもこれを支援していくことが重要である。								
実施方法		■直接実施 □業務委託等 □補助 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		予算の状況	当初予算	3	5	4	5	4		
			補正予算	－	－	－	－			
			繰越し等	－	－	－	－			
			計	3	5	4	5	4		
		執行額		3	3	0.9				
		執行率(%)		93.8	65.1	19.6				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		【成果目標】北東アジアの安全保障情勢に関する各国の学識経験者及び政府関係者(個人の資格で参加)からの意見を聴取			成果実績		北東アジアの安全保障情勢(軍事、政治経済)に関する各国の意見を聴取することが出来た。	北東アジアの安全保障情勢(軍事、政治経済)に関する各国(北朝鮮を含む)の意見を聴取することが出来た。	北東アジアの安全保障情勢(軍事、政治経済)に関する各国の意見を聴取することができた。	
					達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		年1回開催される標記会合への我が省からの参加及び派遣有識者の確保			活動実績 (当初見込み)		外務省から2名、有識者2名が参加	外務省から2名、有識者2名が参加	外務省から2名、有識者2名が参加	－ ()
単位当たりコスト		214(千円/人)			算出根拠	単位コスト＝事業費/参加者				
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費 目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	外国旅費		2,166	1,215	事業見直し等による減					
	文化人等派遣旅費		2,401	2,429						
	計		4,567	3,644						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	NEACDは、北東アジアの長期的な平和と安定を目指す政治安保対話の枠組であり、六者会合が進展しない状況においても、北東アジア諸国間で対話を進めることのできる貴重なフォーラムである。当面は六者会合の再開を念頭に、また、再開後は更なる対話のため、本フォーラムのトラック2の性格を活用して我が国が聴取やインプットを実施することが重要。また、費用対効果の観点からは、民間業者への業務委託に関し、平成22年度については一括して業務委託するのではなく、民間有識者及び外務省からの出席者の経費(外国旅費、文化人派遣等)のみを予算に計上し、費用を抑えることに成功している。これまでの成果及び費用削減の成功に鑑み、引き続き、本フォーラムを活用する必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		事業見直し等による減	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		縮減(事業見直し等による減)	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

外務省
0.9百万円

北東アジア協力対話は、日、米、中国、韓国、ロシア、北朝鮮の各国民間レベルの関係者が参加し、北東アジア唯一の多国間安全保障対話の場であり、我が国として積極的に活動を支援することは、同地域の平和と安定維持のために重要である

【出張者に直接支出】

A. 出張者2名
0.4百万円

出張者A 0.2百万円
出張者B 0.1百万円

第21回北東アジア協力対話出張旅費
を受領する

【有識者に直接支出】

B. 有識者2名
0.5百万円

有識者A 0.3百万円
有識者B 0.2百万円

第21回北東アジア協力対話出張旅費
を受領する

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	第21回北東アジア協力対話出張旅費を受領	0.2	—	—
2	出張者B	第21回北東アジア協力対話出張旅費を受領	0.1	—	—

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有識者A	第21回北東アジア協力対話出張旅費を受領	0.3	—	—
2	有識者B	第21回北東アジア協力対話出張旅費を受領	0.2	—	—